

CSAJ 活動 pickup

2016年7月～2016年12月



一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

CSAJ 活動 pickup

2016年7月～2016年12月

2016年7月から2016年12月までに行った主な活動を pickup してご紹介します。

本誌では、委員会・研究会活動等のうち、企画・実施したもの、調査・研究を行ったものなどを中心に、事務局の各担当がとりまとめました。なお、委員会・研究会活動の経過内容等については割愛していますが、ご興味・ご関心を持たれた活動ありましたら、ぜひご参画ください。

内容

政策提言・意見交換	2
視察・海外出展	5
イベント	7
ビジネスマッチング	10
情報提供セミナー・説明会	11
ニュースリリース	20
報告書	22
実施事業	23

政策提言・意見交換

平成 28 年 7 月 15 日（金）

経済産業省 サイバーセキュリティ課との意見交換

平成 28 年 7 月 15 日（金）、経済産業省 サイバーセキュリティ課にて、サイバーセキュリティ人材育成に関する施策について意見交換を実施しました。（参加：サイバーセキュリティ課 2 名、CSAJ 側 2 名）

笹岡専務理事／セキュリティ委員会 委員長より、委員会での提言を取りまとめたサイバーセキュリティ不足を解消するための人材育成施策について説明を行い、意見交換がなされました。

平成 28 年 7 月 21 日（木）

総務省 自治行政局 地域情報政策室との意見交換

平成 28 年 7 月 21 日（木）、総務省 自治行政局 地域情報政策室にて、松田主査／自治体セキュリティ強化対策研究会の活動趣旨および取組について意見交換を実施しました。（参加：地域情報政策課 4 名、CSAJ 側 6 名）

松田主査より、研究会では地域情報政策室の施策に沿った地方自治体情報システム強化のために情報提供を行うためのスキームについて提案を行い、意見交換がなされました。

平成 28 年 7 月 22 日（金）

IPA／CSAJ の意見交換会を開催

第 16 回目となる「IPA／CSAJ の意見交換会」が、ホテルエドモンドで開催され IPA からは富田理事長はじめ 11 名が参加、CSAJ からは荻原会長はじめ 10 名参加、意見交換会を実施しました。

IPA 側からは、「i CD 活用企業認証の活動状況」、「平成 28 年度 情報処理技術者試験普及活動の取組み」、「IoT 社会に向けた CSAJ 様との共創事業」、「セキュリティセンターの活動状況」の説明があり、CSAJ 側からは、「ソフトウェア出荷判定セキュリティ基準チェックリスト」「PSQ／RISE 事業」CSAJ における i CD 活用、「U22 プログラミングコンテスト」について紹介し、活発な意見交換が行われました。

平成 28 年 9 月 28 日（水）

研究開発税制（サービス開発）に係る意見交換会を実施

平成 28 年 9 月 28 日（水）、経済産業省にて、平成 29 年度税制改正要望（研究開発税制）に関する意見交換を実施しました。（参加：経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 2 名、経済産業省 産業技術環境局 技術振興・大学連携推進課 3 名、CSAJ 側 9 名）

はじめに、技術振興・大学連携推進課 課長補佐より、研究開発税制に追加要望を出している「サービス開発」について、これまでの議論の内容・ポイントおよび課題等について説明があり、その後、意見交換が行われました。

経済産業省より、ビッグデータ、AI、IoT などの新しい技術を絡めた要望について、該当するビジネスを行っている企業の具体的な事例があれば共有していただきたいとの依頼があり、CSAJ として協力する旨、回答しました。

平成 28 年 9 月 28 日（水）

中小企業 EDI 推進に係る意見交換会を実施

平成 28 年 9 月 28 日（水）、CSAJ 会議室にて、中小企業 EDI 推進に係る意見交換を実施しました。（参加：中小企業庁 経営支援部 技術・経営革新課 1 名、IT コーディネータ協会 3 名、CSAJ 側 10 名）

はじめに、技術・経営革新課 課長補佐より、平成 28 年度補正予算概要について、とくに中小企業庁が関わるものを中心に、説明が行われました。

その後、中小企業における EDI の普及・推進に向けた、中小企業共通 EDI プラットフォームの実現に向けて、参加したパッケージソフトベンダへのヒアリングおよび意見交換が行われました。

政策提言・意見交換

平成 28 年 10 月 6 日 (木)

総合振込にかかる XML 電文への移行と金融 EDI の活用に向けた意見交換を実施

平成 28 年 10 月 6 日 (木)、PCA 会議室にて、総合振込にかかる XML 電文への移行と金融 EDI の活用に向けた意見交換を実施しました。(参加：一般社団法人全国銀行協会 5 名、CSAJ 側 5 名)

はじめに、全国銀行協会より、総合振込にかかる XML 電文への移行と金融 EDI の活用に向けて検討している内容等について、説明が行われました。

説明を踏まえ、CSAJ 水谷筆頭副会長より、XML に移行するのであれば拡張性の検討や債権が確定した段階での処理、法人番号の追加や識別する一意の番号(特定するためのユニークな番号)、などについて意見を申し入れました。

平成 28 年 10 月 24 日 (月)

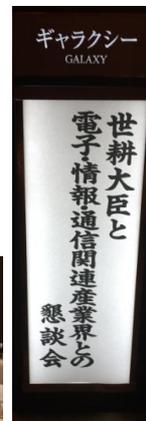
世耕経済産業大臣と業界関係団体との懇談会に参加

平成 28 年 10 月 24 日 (月) に経済産業省と情報通信関連団体の懇談会が、ANA インターコンチネンタルホテル東京「ギャラクシー」にて開催され、CSAJ からは、荻原会長、青野副会長が参加し、ソフトウェア業界の概況と CSAJ の要望が発表されました。

経済産業省からの主な参加者：世耕 弘成 大臣、高木 陽介 副大臣、中川 俊直 大臣政務官、菅原 郁郎 経済産業事務次官、他、大臣官房長、局長、審議官など。参加団体(5 団体)：コンピュータソフトウェア協会、電子情報技術産業協会、情報通信ネットワーク産業協会、ビジネス機械情報システム産業協会、情報サービス産業協会

CSAJ からの要望事項：

- 【働き方改革】環境整備や制度導入への支援
- 【クラウドの推進】日本のクラウド企業の活性化
- 【EU データ保護】EU データ保護規制でのクラウドサービスの相互利用できる環境作りを、優先的な対処



平成 28 年 10 月 28 日 (金)

経済産業省 情報処理振興課との意見交換

平成 28 年 10 月 28 日 (金)、経済産業省 情報処理振興課にて、サイバーセキュリティ人材育成に関する施策について意見交換を実施しました。(参加：情報処理振興課 2 名、CSAJ 側 3 名)

笹岡専務理事/セキュリティ委員会 委員長、小屋理事/セキュリティ委員会 副委員長より、委員会での提言を取りまとめたサイバーセキュリティ不足を解消するための人材育成施策について説明を行い、意見交換がなされました。

平成 28 年 11 月 10 日 (木)

世耕経済産業大臣へ『働き方改革』に関する要望提出

平成 28 年 11 月 10 日 (木)、世耕経済産業大臣へ「『働き方改革』に関する政府への要望について」を提出しました。

要望提出の経緯としては、10 月 24 日に行われた世耕経済産業大臣と業界関係団体との懇談会を受け、経済産業省の進める「働き方改革」を当協会としても支援するためのものです。



政策提言・意見交換

平成 28 年 11 月 14 日 (月)

帝京大学 宇都宮キャンパス キャリアサポートセンターとの意見交換会実施

平成 28 年 11 月 14 日 (月)、CSAJ 経営力向上研究会と JASPA 22 世紀フォーラムの合同企画により、帝京大学 宇都宮キャンパスへ訪問、同大学キャリアサポートセンターと就職に係る最近の学生の傾向等について、意見交換を行いました。

大学では、学生の育成に際し、広い視野でみることができる人材や、企業から選ばれる人材（コミュニケーション能力や自ら動く力）を育てることに注力されていました。一方、学生は就職に際し、学んだ知識を活かして関東圏内で終身雇用を求める生徒が多いとのことでした。保護者も年々就職活動に熱心になっており、IT 業界のイメージについては、学生よりも保護者のイメージがあまりよくないとのことでした。

経営力向上研究会では、今回の意見交換を踏まえ、今後も他の大学キャリアセンターとの意見交換の場を設けるなど、大学側の実態把握と、企業経営者としての人材確保の方策を検討する予定です。

平成 28 年 12 月 19 日 (月)

経済産業省 情報処理振興課との意見交換

平成 28 年 12 月 19 日 (金)、経済産業省 情報処理振興課にて、サイバーセキュリティ人材育成に関する施策について意見交換を実施しました。（参加：情報処理振興課 2 名、CSAJ 側 2 名）

笹岡専務理事／セキュリティ委員会 委員長、小屋理事／セキュリティ委員会 副委員長より、委員会での提言を取りまとめたサイバーセキュリティ不足を解消するための人材育成施策について、政府政策への取り込みを検討するための、意見交換がなされました。

平成 28 年 12 月 22 日 (木)

金融 EDI 情報として格納すべき商流情報の最低限必要な項目に法人番号追加

平成 28 年 12 月 22 日 (木)、経済産業省・中小企業庁連名で、「[金融 EDI 情報として格納すべき商流情報の整理について](#)」が公表されました。

金融 EDI における商流情報等のあり方検討会議には、CSAJ 水谷筆頭副会長が委員として参加しており、情報項目に関する検討の中で、最低限必要な項目として、法人番号（法人マイナンバー）を入れるべきと発言してきましたが、今回それが実現した形となりました。

視察・海外出展

日台ソフトウェア企業交流商談会

期間：平成 28 年 7 月 1 日（金）

「2016 台日軟體企業交流商談会」にて、藤井理事より「PSQ 認証制度」についてご講演いただきました。

JISA の国際委員会の紹介で昨年 12 月に CISA 邱月香理事長と面談し、台湾企業が日本向けに販売するソフトウェア製品への「PSQ 認証」取得についてご支援頂くことになりました。

JISA の国際委員会の会員は台湾製品を日本国内で販売するケースが多いことから実現に向けての活動を継続しています。

■日本からの主な参加団体

JISA、JASA、沖縄県情報産業協会、日本ネットワークセキュリティ協会 及び一般企業（フォーラムエイト アトムシステム等）



エグゼクティブセミナー in 秋田県

～IT が創る・支える・変革する「地方創生」～

期間：平成 28 年 7 月 8 日～9 日

平成 28 年 7 月 8 日(金)～9 日(土)の 2 日間、CSAJ 会員の経営者・管理者層を中心とした「エグゼクティブセミナー in 秋田～IT が創る・支える・変革する「地方創生」～」が、秋田県、秋田市、横手市、湯沢市、国際教養大学、秋田大学、秋田大学医学部附属病院様のご協力をいただき、秋田県で開催されました。

CSAJ からは、会長・副会長をはじめ 30 社・団体/39 名が参加し、大変盛況な中、無事終了しました。



視察・海外出展

米国 AI & シリコンバレー視察ツアー

期間：平成 28 年 11 月 7 日(月)~12 日(土)



2016年11月7日(月)~12日(土)に実施いたしました「米国AI & シリコンバレー視察ツアー」が無事終了いたしました。

参加メンバーによる視察先とのミーティング内容や最先端AI研究の感想など、有意義な視察だったことがうかがえる報告書をホームページ上で公開しておりますので、ぜひご参照ください。



○2016 米国 AI & シリコンバレー視察ツアー 報告書



イベント

平成 28 年 9 月 14 日 (水)

CSAJ 会員交流会 (主催: 交流委員会)

平成 28 年 9 月 14 日 (火)、恒例の「CSAJ 会員交流会」が、東京都港区の「食堂 BAR カスミガセキ」で、開催されました。

今年は 140 名以上の皆様にご参加いただき、旬の食材とともにビアサーバーや Bar カウンターなどからお好きな飲み物を注文され、情報交換やご挨拶、お知り合いのご紹介など活発な交流が行われました。

会の中盤では、会員企業様のご提供による豪華賞品の抽選会で大いに盛り上がりました。

田中副会長による中締めで、盛況の内に終了しました。



平成 28 年 10 月 4 日 (火) ~7 日(金)

CEATEC JAPAN 2016 開催報告

CEATEC JAPAN 2016 は、従来の「最先端 IT・エレクトロニクス見本市」から「CPS/IoT Exhibition」に大きく舵を切り、未来を見据えたコンセプトや新しいビジネスモデルを発信する「CPS/IoT の総合展」として開催しました。

昨年を大幅に超える数の出展者や登録来場者が集い、「産業」「技術」「政策」の繋がり力を国内外に発信するとともに、業種や産業を超えた連携による事業創出や世界各国との政策連携なども含めた「共創」を生み出す場として、大きく動き出しました。

CSAJ からは豆蔵ホールディングスグループが主催者企画展示「IoT タウン」に出展し、多くの来場者を集めました。



イベント

平成 28 年 11 月 19 日 (土)

第 5 回 CSAJ 会長杯親睦会 (主催：交流委員会)

平成 28 年 11 月 19 日 (土)、CSAJ 第 5 回会長杯親睦会 (交流委員会主催) が「富士屋ホテル仙石 GC」で開催されました。

当日は生憎の空模様とはなりましたが、鮮やかに彩られた紅葉の中、総勢 38 名の皆様にご参加いただきました。

はじめに、荻原会長の挨拶があり、そのあと交流委員の村瀬理事より、今回初参加となる方をご紹介いただいた後、ルール説明が行われました。その後、OUT コース、IN コースに分かれて、プレーが開始されました。

皆さま日頃の腕前を競いつつ、ビジネスやプライベートの話などで親睦を深めていました。

プレー後は、表彰式と懇親会が行われ、第 5 回会長杯親睦会は、盛況のうちに終了しました。ご参加いただきました皆様、ありがとうございました。

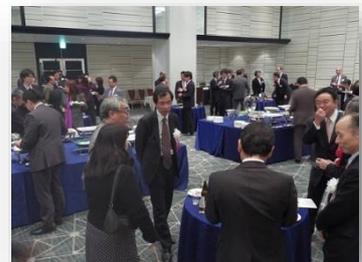


平成 28 年 11 月 24 日 (木)

会員交流会 in OSAKA

平成 28 年 11 月 24 日 (木)、ホテル日航大阪にて「CSAJ 会員懇親会 in OSAKA」を開催いたしました。

43 名の会員、関係企業、関係団体にご来場いただき、経済産業省近畿経済産業局地域経済部 次長 志賀英晃様にご挨拶を頂戴したほか、OSK 日本歌劇団によるショーなど、大変盛況のうちに終了いたしました。



イベント

平成 28 年 11 月 21 日 (月)

第 3 回 CSAJ 幹部と新入会員との懇親会 (主催：総務委員会)

平成 28 年 11 月 21 日 (月)、平成 28 年度上半期入会企業の皆様と総務委員会メンバーを中心とする幹部陣との第 3 回 CSAJ 幹部と新入会員との懇親会が「山王健保会館」で開催されました。

当日は、16 社 / 29 名の新入会員企業様にご参加いただき、幹部陣含め、総勢 44 名の参加となり大変盛況な懇親会になりました。

会は、荻原会長の挨拶と乾杯から始まり、中盤では、参加企業様により自己紹介・自社アピールの時間を設け、CSAJ に入会した経緯や入会して期待することなどそれぞれ発表していただきました。

最後は、水谷筆頭副会長の中締めで終了となりました。

当日ご参加いただいた新入会企業の皆様は以下の通りです。

- ・株式会社 IP イノベーションズ
- ・AOS データ株式会社
- ・株式会社 M J
- ・エンバカデロ・テクノロジーズ合同会社
- ・キヤノン電子テクノロジー株式会社
- ・協立情報通信株式会社
- ・株式会社高速屋
- ・株式会社国和システム
- ・シアルシステム株式会社
- ・スタイルアクト株式会社
- ・SOMPO システムズ株式会社
- ・株式会社 FoxitJapan
- ・株式会社ブレインワークス
- ・Mintomo 株式会社
- ・株式会社メノックス
- ・株式会社ラネクシー



乾杯をする荻原会長



出席幹部紹介



懇親会場の様子



自己紹介をする参加企業の方々



中締めの挨拶：水谷筆頭副会長

ビジネスマッチング



第 118 回アライアンスビジネス交流会 (主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時：平成 28 年 7 月 26 日 (火)、会場：山王健保会館会議室

参加実績：30 社 46 名

プレゼンテーション 1：[ローグウェブソフトウェア株式会社](#)

発表製品分類：OSS サポート・サービス/並列アプリケーション開発を支援する超強力なデバッグ

発表製品名：OpenLogic (オープンロジック) オープンソース監査・TotalView (トータルビュー)

プレゼンテーション 2：[インターコム株式会社](#)

発表製品分類：クラウド型 ビジネスコミュニケーションツール

発表製品名：interCOM デリバリーセンター

プレゼンテーション 3：[東京ナノファーム合同会社](#)

発表製品分類：仕様書、設計データ、ドキュメントを有機的に統合するツール群

発表製品名：ISDD(Integrated Spec, Design and Doc)

プレゼンテーション 4：[キヤノン IT ソリューションズ株式会社](#)

発表製品分類：ビッグデータの高速度加工・解析ツール

発表製品名：解析ブースター



第 119 回アライアンスビジネス交流会 (主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時：平成 28 年 9 月 6 日 (火)、会場：山王健保会館会議室

参加実績：38 社 51 名

特別講演：ミラクル・リナックス 松江ラボ開設の経緯と課題
～ 海外拠点との違いやラボでの働き方をご紹介～

講演者：青山 雄一 (ミラクル・リナックス株式会社 マーケティング本部 本部長)

プレゼンテーション 1：[株式会社ティーエム 21](#)

発表製品分類：中小規模 (人口 10 万人程度) の自治体向け CMS

発表製品名：スサノオ神話 (CMS)

プレゼンテーション 2：[株式会社円簿インターネットサービス](#)

発表製品分類：クラウドベースの会計ソフト、給与ソフト、営業支援ソフト

発表製品名：「円簿会計」「円簿給与」「円簿営業支援」

プレゼンテーション 3：[株式会社ヒューマンシステム](#)

発表製品分類：イベント運営プラットフォーム

発表製品名：KOTO2 (コトコト)

プレゼンテーション 4：[ウィッツェル株式会社](#)

発表製品分類：ソフトウェアコンポーネント、パッケージアプリケーション (B2B 向け手書き文字入力、文字認識、署名認証ソリューション)

発表製品名：手書ソリューション



ビジネスマッチング



第 120 回アライアンスビジネス交流会 (主催：交流委員会)

IT 企業同士のビジネスマッチングの場を提供し、互いにビジネスパートナーを見つけていただくことを目的とした交流会

開催日時：平成 28 年 11 月 8 日 (火)、会場：山王健保会館会議室

参加実績：33 社 46 名

プレゼンテーション 1：[使えるねっと株式会社](#)

発表製品分類：クラウドバックアップ

発表製品名：使えるクラウドバックアップ

プレゼンテーション 2：[エバ電子株式会社](#)

発表製品分類：WindowsOS 用 環境復元ソフトウェア

発表製品名：HDD KEEPER 9 BusinessEdition

プレゼンテーション 3：[株式会社ナビット](#)

発表製品分類：企業向けデータ

発表製品名：法人電話帳データ、オープン君・てったいちゃん、
名刺にふるふる、FAX 番号リスト送信サービス

プレゼンテーション 4：[株式会社ワコム](#)

発表製品分類：デジタルインクの入カデバイス及びソフトウェア

発表製品名：電子サインや手書き帳票をはじめとしたデジタルインクソリューション



情報提供セミナー・説明会

政策

第 22 回経営力向上セミナー (主催：経営力向上研究会)

開催日：平成 28 年 10 月 18 日(火)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：12 社 15 名

テーマ：成功経営者ならではの経営理念と経営計画

講演者：山田 隆明 氏 (山田隆明公認会計士事務所長、CSAJ 監事)

講演概略：失敗するパターン、成功事例を分かりやすく解説。

第 23 回経営力向上セミナー (主催：経営力向上研究会)

開催日：平成 28 年 12 月 13 日(火)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：17 社 20 名

テーマ 1：インターンシップの取組み企業事例紹介

講演者：甲斐 丈久 氏 (株式会社コンピュータシステム研究所 (東京都) 代表取締役社長)

三國 浩明 氏 (株式会社建設ドットウェブ (石川県) 代表取締役)

講演概略：インターンシップにおける学生側と会社側双方のニーズ、インターンシップを企業への就職と定着へ結びつけるための事例を紹介。

テーマ 2：自治体におけるインターンシップ支援事業について

説明者：野崎 祥一 氏 (石川県商工労働部企画課 人材確保・定住政策推進室 グループリーダー)

講演概略：石川県内の民間企業へのインターンシップの誘致についてこれまでの経緯を交えて紹介。

情報提供セミナー・説明会

法務・知財

第 20 回座談会 (主催：法務・知財委員会)

開催日：平成 28 年 7 月 5 日 (火)、会場：CASJ 会議室、参加実績：15 社 19 名

テーマ 1：FinTech による金融ビジネスの再構築と法規

説明者：渡邊 寛人 氏 (GVA 法律事務所 弁護士)

説明概略：FinTech と法規制について、資金決済法や貸金業法、金融商品取引法や銀行業法に係る IT 事例をもとに解説。

テーマ 2：消費者契約法改正の動きについて

説明概略：内閣府消費者委員会事務局からの意見照会に基づく意見交換内容概略などについて説明。

テーマ 3：最近の法務知財の旬な話題について(37)

説明者：黒住 哲理 氏 (ブレイクモア法律事務所 弁護士)

説明概略：法務知財の法改正動向等について、新しいトピックと引き続き注目すべきトピックを紹介。

第 21 回座談会 (主催：法務・知財委員会)

開催日：平成 28 年 9 月 29 日 (木)、会場：CASJ 会議室、参加実績：16 社 19 名

テーマ 1：・ビッグデータ、ネット、AI, IoT 等あたらしい技術、ビジネスモデルと法務
－知的財産権、独占禁止法－

説明者：平野 高志 氏 (ブレイクモア法律事務所 弁護士)

説明概略：新しい技術・ビジネスモデルにより発生し得る法律問題について、過去の事例を参考に解説。

テーマ 2：最近の法務知財の旬な話題について(38)

説明者：黒住 哲理 氏 (ブレイクモア法律事務所 弁護士)

説明概略：法務知財の法改正動向等について、新しいトピックと引き続き注目すべきトピックを紹介。

第 22 回座談会 (主催：法務・知財委員会)

開催日：平成 28 年 12 月 5 日 (月)、会場：CASJ 会議室、参加実績：20 社 24 名

テーマ 1：Google の AI 戦略と知財

説明者：杉原 佳亮 氏 (グーグル株式会社 執行役員 公共政策・政府渉外担当)

説明概略：インターネットがもたらした情報アクセス革命と、テクノロジーの進化とライフスタイルの多様化による消費行動の変化に伴う新たなビジネスモデルの紹介や知財保護の仕組みを説明。

テーマ 2：最近の法務知財の旬な話題について (39)

説明者：黒住 哲理 氏 (ブレイクモア法律事務所 弁護士)

説明概略：法務知財の法改正動向等について、新しいトピックと引き続き注目すべきトピックを紹介。

情報提供セミナー・説明会

人材

第5期 iCD 活用ワークショップ[®] (主催：iCD 研究会)

開催日：平成 28 年 6 月 21 日 (火) 事前説明会、会場：CASJ 会議室
平成 28 年 7 月 1 日 (金) ~2 日 (土) 第 1・2 回 WS、会場：多摩永山情報教育センター
平成 28 年 7 月 14 日 (木) 第 3 回 WS、会場：CSAJ 会議室
平成 28 年 7 月 28 日 (木) 第 4 回 WS、会場：フォーラムエイト会議室
平成 28 年 8 月 25 日 (木) 第 5 回 WS、会場：CSAJ 会議室
平成 28 年 9 月 8 日 (木) 第 6 回 WS、会場：CSAJ 会議室
平成 28 年 10 月 13 日 (木) テイクオフミーティング、会場：CSAJ 会議室

ワークショップ参加企業：

株式会社 IP イノベーションズ、株式会社システムリサーチ、株式会社フォーラムエイト、
株式会社メノックス

メイン講師：木田 徳彦氏 (CSA 理事 株式会社インフォテック・サーブ 代表取締役)

サブ講師：高山 俊介氏 (独立行政法人情報処理推進機構)

ストレスチェック義務化対策対応セミナー (主催：メンタルヘルス研究会)

開催日：平成 28 年 7 月 27 日 (水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：25 社 41 名

テーマ：サービス紹介 1 OMSS+ストレスチェックサービス

講演者：伊藤理子氏 (株式会社オービックビジネスコンサルタント)

講演概略：ストレスチェック実施による業務負担軽減と安心安全な制度運用を可能性の説明。

テーマ：サービス紹介 2 関東 IT ソフトウェア健康保険組合ストレスチェックの具体的な進め方

講演者：小出建氏 (株式会社フィスメック)

講演概略：メンタルヘルス取組状況や環境から、最適なストレス調査ツールを紹介。

メンタルヘルス情報提供セミナー (主催：メンタルヘルス研究会)

開催日：平成 28 年 10 月 26 日 (水)、会場：市ヶ谷健保会館、参加実績：30 社 37 名

テーマ：ストレスチェック制度実践編~職場環境改善活動につなげる健康経営の考え方~

講演者：石見忠士氏 (一般社団法人日本産業カウンセラー協会 ころの耳ポータルサイト運営事務局長)

テーマ：統合医療によるメンタルヘルスの予防・改善

講演者：塩田清二氏 (星薬科大学特任教授、日本アロマセラピー学会理事長、日本統合医療学会業務執行理事、美しく老いる会代表理事、SHIODA ライフサイエンス株式会社代表取締役社長)

テーマ：ひびきと生命科学~自然治癒力を高め、心身の不調を解くオルゴール療法~

講演者：佐伯吉捷氏 (一般財団法人国際ひびき生命科学研究センター理事長)

情報提供セミナー・説明会

国際

優秀な外国人 IT 人材の発掘から採用まで !!

外国人 IT 人材採用セミナー 実施報告

(主催 : CSAJ / アジア等 IT 人材定着支援協議会)

平成 28 年 12 月 6 日 (火)、山王健保会館にて「優秀な外国人 IT 人材の発掘から採用まで !! 外国人 IT 人材採用セミナー」を開催しました。

はじめに経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 課長補佐 宇留賀 敬一 氏からご挨拶及び国の政策について説明をいただきました。

その後、第 1 部では、株式会社アイ電子工業 代表取締役社長 高橋 温 氏から、インターンシップから外国人高度人材枠を直接雇用するプログラムについて講演ご紹介頂きました。

第 2 部では、中堅・中小日系企業から高まっている ASEAN 進出ニーズに応える「進出前」から「進出後」までのトータルなサポートについて、株式会社クリエイティブソリューションズ 新規事業担当 柳橋 康一 氏よりご説明頂きました。

続く第 3 部では、「エンジニア不足時代の特効薬!? ~ リスクのない外国人エンジニア採用を目指して ~」と題し、株式会社 JELLYFISH 取締役 新城 優 氏よりエンジニア紹介実績や奥多摩日本語学校を活用したニアショア開発、ベトナムホーチミンでのオフショア開発事例をご紹介頂きました。

第 4 部では、世界規模で行っている育成プロジェクトの具体的な手法についてフォースパレー・コンシェルジュ株式会社 代表取締役社長 柴崎 洋平 氏よりご説明を頂きました。

IT 人材の不足が叫ばれる中、外国人 IT 技術者の採用を検討する中小企業が増えつつあります。多くの企業が、現地エンジニアとの橋渡しをする IT 技術者の確保と語学力、技術力の齟齬によって起こるミスマッチの解消を喫緊の課題と考えています。その課題を解決する具体的な実例について説明がなされました。

開催日 : 平成 28 年 12 月 6 日 (水)、会場 : 山王健保会館

参加実績 : 41 社 48 名

挨拶 : 宇留賀 敬一 氏 (経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 課長補佐)

第 1 部 : ベトナムダナン大学 インターンシッププログラムのご提案

講師 : 高橋 温 氏 (株式会社アイ電子工業 代表取締役社長)

第 2 部 : 海外展開ならびにアジア人材採用支援について

講師 : 柳橋 康一 氏 (株式会社クリエイティブソリューションズ 新規事業担当)

第 3 部 : エンジニア不足時代の特効薬!? ~ リスクのない外国人エンジニア採用を目指して ~

講師 : 新城 優 氏 (株式会社 JELLYFISH 取締役)

第 4 部 : 外国人 IT エンジニア活用のすすめ ~ 日本語が出来るエンジニアの発掘・育成から定着まで ~

講師 : 柴崎 洋平 氏 (フォースパレー・コンシェルジュ株式会社 代表取締役社長)



情報提供セミナー・説明会

技術

第6回 Cognitive/AI の現在と未来～Microsoft の AI 技術～

(主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：平成 28 年 8 月 9 日(火)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：27 社 34 名

テーマ：Microsoft の Cognitive/AI で実現するデジタル変革

講演者：原田 一樹 氏

(日本マイクロソフト(株) エンタープライズサービスデリバリー Modern Apps)

講演概略：Microsoft は AzureMachine Learning や Cognitive Services、bot Framework や CNTK、Cortana といった機械学習のテクノロジーを活用するためのサービスやツールキット、プラットフォームを提供している。これらのテクノロジーは企業の Digital Transformation 実現のための重要な武器となる。これらを踏まえ、Microsoft の最新テクノロジーの活用の勘所や事例について解説。

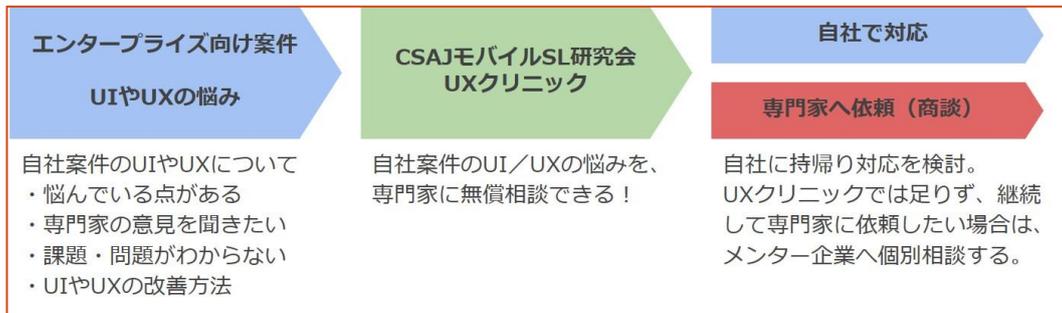
第1回 UX クリニック (主催：モバイルソリューション研究会)

開催日：平成 28 年 8 月 25 日(木)、会場：日本事務器社会議室、参加実績：3 社

メンター：安藤 幸央氏 (株式会社エクサ コンサルティング推進部 担当課長/米国グーグル公認
デザインスプリントマスター (世界で 17 名))

※メンターとは、対話や助言によって本人の自発的な成長を支援する専門家であり、本企画の相談相手。)

活動概要：CSAJ 会員企業向けに、自社案件 (エンタープライズ分野、特に業務利用、社内利用のアプリケーション) の“UI”や“UX”について専門家に相談する機会を無償提供する活動を企画。専門家との対話や助言から、自社において UI や UX の向上に取り組む“きっかけ”や“発想・手法”を得る機会とする事が目的。



情報提供セミナー・説明会

技術

Industry 4.0 の取組実例～METI の取組と独国 IoT の実態～ (主催：IoT 推進研究会)

開催日：平成 28 年 9 月 16 日(金)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：31 名

テーマ：『第 4 次産業革命・Industry4.0 への対応～製造業はどこへ向かうのか～』

講演者：坂本弘美氏

(経済産業省 製造産業局 参事官室 情報化振興係長)

テーマ：『TRUMP 社が実現する「Industry4.0」のご紹介』

テーマ：『エフエーサービスが実現する「スマートファクトリー」のご紹介』

概要概略：ドイツの TRUMP 社が「Industry4.0」をどのように解釈し推し進めているのか

※TRUMP 社 (エフエーサービス社の親会社「TRUMPF GmbH+co.KG」/板金加工メーカー)

第 7 回 AI 技術を実稼働させる要求定義 (主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：平成 28 年 9 月 30 日(水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：26 社 29 名

テーマ：ロボット投信株式会社の AI 技術への取組や導入事例

講演者：野口哲氏 (ロボット投信株式会社 代表取締役社長)

講演概略：証券業界では AI・ディープラーニングへの関心が高まり、IT 部門や調査プロジェクトチームから開発ベンダへの問い合わせ等が増えている。しかし、実稼働し成果を残し続ける事例はあまり多くない。その理由がユーザ部門と調査を行っている IT 部門の認識差異にあると着目し、実稼働させるために必要な課題設定方法や要求の絞り込みに関する事例について紹介。

CEATEC JAPAN 2016 企画コンファレンス

事例徹底研究！Pepper と IBM Watson の効果的活用法

開催日：平成 28 年 10 月 4 日(火)、会場：幕張メッセ国際会議場、参加実績：154 名

講演者：中山五輪男氏 (ソフトバンク株式会社 法人事業戦略本部 首席エヴァンジェリスト)

講演概略：時代の流れと共に最先端技術や最先端のデバイスが私達の生活やビジネスを変えている。ソフトバンクの知的ロボット「Pepper」、さらには米 IBM が開発した人工知能型システム「IBM Watson」などの出現が世界をまた大きく変えようとしている。Watson と繋がった Pepper は何が出来るのか？最新の ICT 関連技術の融合が与えるインパクトについて、またそれにより人々の生活やビジネスはどう変化していくのかについて映像を交えながら詳しく説明。

CEATEC JAPAN 2016 モバイルアプリケーション技術最新動向調査セミナー

(主催：モバイルソリューション研究会)

開催日：平成 28 年 10 月 4 日(火)、会場：幕張メッセ国際会議場、参加実績：173 名

テーマ：UX 戦略 (業務系とスマホアプリにおけるユーザー体験の戦略とは)

講演者：安藤幸央氏 (株式会社エクサ コンサルティング推進部 UX 担当)

：成嶋敏文氏 (株式会社ピーエスシー PSC デザイン研究所 所長)

講演概略：“UX 戦略”つまりは、どのようなユーザー体験を提供するかという戦略に関しての知見とノウハウを伝えた。エンタープライズ系、業務系から、コンシューマ向けのスマホアプリまで、どのように戦略を立てて使い易いものを提供し、いかに競争を引き離してアプリやサービスを提供するのかといった話とともに、UX を組織の中にどう浸透させて取り入れていくのかについて講演。

情報提供セミナー・説明会

技術

CEATEC JAPAN 2016 企画コンファレンス

ブロックチェーンは何処へ行くのか～これからの可能性を探して～

開催日：平成 28 年 10 月 5 日(水)、会場：幕張メッセ国際会議場、参加実績：151 名

テーマ 1：ブロックチェーン業界動向～ベンチャー企業動向と成長に向けた考察～

講演者：菅野政治 氏（伊藤忠テクノロジーベンチャーズ(株) ベンチャーパートナー）

下地俊一 氏（伊藤忠テクノソリューションズ(株) 金融第 1 本部 担当部長）

五十嵐知宏 氏（伊藤忠テクノソリューションズ(株) 情報通信第 1 本部 新技術推進チーム 課長）

講演概略：ブロックチェーンの特徴や期待される適応領域を改めて整理しつつ、投資の観点から見たブロックチェーンの市場及びベンチャー企業の動向と今後の成長に向けた課題を考察。また、伊藤忠テクノソリューションズからも BlockChain2.0 の Contract 機能を利用したシステム開発事例及び日本ブロックチェーン協会（JBA）賛助会員の立場として、国内のマーケット状況や取り巻く環境について紹介。

テーマ 2：マイクロソフトが進める Blockchain as a Service について

講演者：廣瀬一海 氏

（日本マイクロソフト(株) クラウドプラットフォーム技術部 テクノロジースペシャリスト）

講演概略：ブロックチェーンという技術が世に登場し、その新しい技術を金融分野をはじめとして、さまざまな企業が実証実験を始めています。そもそもブロックチェーンを支える技術と今後の見込まれる技術の展開がどうなるのか？マイクロソフトは今後どのようにブロックチェーンを推進していくのかについて紹介。

第 8 回 富士通が明かす人工知能の真実（主催：人工知能（AI）技術研究会）

開催日：平成 28 年 10 月 26 日(水)、会場：山王健保会館会議室、参加実績：27 社 40 名

テーマ：AI アプリケーション構築プラットフォーム「Teneo」とは

講演者：松井 くにお 氏

（(株)富士通研究所 人工知能研究センター 主席研究員／ニフティ(株) 新規ビジネス開発担当理事）

講演概略：人工知能は、人間のできないことを「コンピュータらしく」やるものなのか、人間のできることを「人間らしく」やるものなのか、最近の Deep Learning 等の技術的な進歩によってその境界線がわからなくなってきた。囲碁や将棋などの「人間らしい」ゲームの世界でもプロ棋士たちを負かすことができるようになってきたが、日常我々が行なっているような話を聞いたり、おしゃべりしたりすることには相変わらず不自然さが付きまとう。人工知能の得手／不得手は何が決め手になるのかについて解説。

第 9 回 自然言語処理 AI 実例セミナー～CASE:Teneo～

（主催：人工知能（AI）技術研究会）

開催日：平成 28 年 11 月 17 日(木)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：24 社 28 名

テーマ：AI アプリケーション構築プラットフォーム「Teneo」とは

講演者：松井 孝澄 氏（(株)インターワーク 代表取締役）

講演概略：Teneo は自然言語処理による AI アプリケーションを実現するために必要なランタイム環境、ナレッジ構築・保守ツール、ナレッジ分析ツールからなる統合ソリューション。実際のツールとデモを見ながら説明。

情報提供セミナー・説明会

技術

第10回 企業システム適用事例で学ぶ AI 技術-TIS 編- (主催：人工知能 (AI) 技術研究会)

開催日：平成 28 年 12 月 16 日(金)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：25 社 28 名

テーマ：エンタープライズシステムへの AI 技術の適用

講演者：油谷 実紀 氏 (TIS(株) フェロー 戦略技術センター長)

講演概略：AI は関連報道を目にしないうるほどメディアを賑わしていますが、最近ではベンダ視点の情報提供のみならず、ユーザの課題に対するアプローチも増えてきた。TIS がシステムインテグレーターとして AI 技術およびその周辺領域としての IoT やロボティクスをどのように咀嚼しソリューション化しようとしているか、事例を交えて説明。

セキュリティ

自治体セキュリティ強靱化対策に関わる人々の相互交流セミナー

(主催：自治体セキュリティ強靱化支援研究会)

開催日：平成 28 年 9 月 7 日 (水)、会場：CSAJ 会議室、参加実績：57 名

テーマ1：サイバー攻撃のトレンドと自治体における情報セキュリティ強靱化

講演者：三木 浩平 氏 (総務省自治行政局地域力創造グループ 地域情報政策室企画官)

テーマ2：自治体情報システム担当者の現場から見たセキュリティ強靱性向上対策

講演者：諸橋 昭夫 氏 (特定非営利活動法人 市民と電子自治体ネットワーク 代表理事)

テーマ3：セキュリティソリューションベンダー相互交流促進の場を提供する意義

講演者：山本 祥之 氏 (一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 副会長)

テーマ4：オープンパネルディスカッション

パネリスト：千葉 大右 氏 船橋市市民生活部戸籍住民課

木村 祐介 氏 三鷹市企画部情報推進課

石川 家継 氏 地方公共団体情報システム機構情報化支援戦略部

大泰 司章 氏 一般社団法人日本情報経済社会推進協会

モデレーター：松田 利夫 氏

情報提供セミナー・説明会

ビジネス

テレワーク導入支援オープンセミナー（主催：クラウドビジネス研究会）

開催日：平成28年7月7日（木）、会場：CSAJ 会議室、参加実績：28社34名

テーマ：職場意識改善助成金（テレワークコース）の理解と活用

講演者：梅村渉介氏（厚生労働省労働基準局勤労者生活課）

講演概略：今年度「職場意識改善助成金（テレワークコース）」の理解と活用のための諸注意事項等

テーマ：テレワークと労働生産力向上について

講演者：中島啓吾氏（全国ソフトウェア協同組合連合会会員、社会保険労務士）

講演概略：人材雇用・活用、労務管理等の視点から、何故今テレワークが必要か？

テーマ：テレワークであなたの会社を変革する

講演者：大西信次氏（CSAJ 会員、株式会社ブレインワークス取締役）

講演概略：テレワークは目的でなく手段、目的から考えて最適手段を選択。テレワークのセキュリティリスク対応。

パネルディスカッション

討論テーマ：「テレワーク普及のために今できること、なすべきこと？」

モデレータ：クラウドビジネス研究会 主査 松田利夫

パネラー：一般社団法人日本テレワーク協会 主席研究員 今泉千明氏

全国ソフトウェア協同組合連合会 中島啓吾氏（社会保険労務士）

CSAJ 大西信次氏（株式会社ブレインワークス取締役）

総合司会：株式会社ワイズ・マーケティング 代表取締役社長 京野受枝

その他（企画）

ソフトウェア業界向け！2時間でわかる助成金・補助金・入札 活用方法 ～人には聞けない申請のコツ～

開催日：平成28年12月9日（金）、会場：CSAJ 会議室、参加実績：18社20名

テーマ1：最小のリスクで最大の効果を上げる助成金・補助金活用術

講演者：加藤 真貴氏（株式会社ナビット コーポレート事業部 入札成功コンサルタント）

講演者：前田 啓佑氏（株式会社ナビット コーポレート事業部）

講演者：工藤 一樹氏（ピースフル社会保険労務士事務所 代表）

講演概略：公的な制度や案件、助成金を十分に活用するための基礎知識をご紹介します。

テーマ2：補助金採択の秘訣

講演者：澤井 泰良氏（株式会社グランツカンパニー 代表取締役）

講演概略：補助金に採択する企業はどんな申請書を作成しているのか、表には出てこない補助金申請の秘訣について紹介。

ニュースリリース

平成 28 年 7 月 13 日 (水)

[ソフトウェア出荷判定セキュリティ基準チェックリストを公開](#) [設計から運用まで開発現場で使えるセキュリティ要件を策定](#)

CSAJ セキュリティ委員会/ソフトウェア出荷判定セキュリティ基準策定 WG では、パッケージソフトウェアや Web サービスのセキュリティ品質を向上させるための「ソフトウェア出荷判定セキュリティ基準チェックリスト」を公開。本チェックリストは、CSAJ 会員企業でセキュリティや品質保証を担当する専門家が制作したもので、ソフトウェアの品質の一環としてセキュリティを捉え、開発現場での仕様策定や出荷テストの際の評価項目として幅広く利用できることを目的として構成されている。チェックリストは、CSAJ の以下 Web サイトからダウンロードでき、クリエイティブコモンズライセンスに基づき、CSAJ 会員のみならず誰もが自由に利用でき、自社利用はもとより、改変や商用利用も可能。

平成 28 年 7 月 28 日 (木)

[マイナンバー対応ソフトウェア認証製品決定](#)

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (略称「CSAJ」、港区赤坂) は、個人番号を直接扱う業務アプリケーションが実装すべき機能について、第三者が実装確認・認証する「マイナンバー対応ソフトウェア認証制度」において、7 月 26 日に認証判定を実施、新たに 1 社 1 製品を認証しました。

平成 28 年 9 月 8 日 (木)

[「U-22 プログラミング・コンテスト 2016」 歴代最多の応募件数！ 事前審査結果を発表！](#)

U-「U-22 プログラミング・コンテスト」を主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、U-22 プログラミング・コンテスト 2016 の事前審査を通過した応募作品とともに、歴代最多の応募件数であることを発表しました。

8 月 25 日に作品の応募締切を行った結果、1980 年に第 1 回目のコンテストを開始して以来、歴代最多の 252 作品、応募者総数 767 名の応募となりました。また、応募締め切り後に行われた事前審査会において、41 作品まで絞り込まれました。今後行われる一次審査会で 16 作品程度まで絞り込まれた後、最終審査会にて各賞の授与が決まります。

平成 28 年 9 月 20 日 (火)

[「U-22 プログラミング・コンテスト 2016」 一次審査結果発表！ 小学生から大学生までの全 16 作品が 10 月 2 日の最終審査会へ！！](#)

U-「U-22 プログラミング・コンテスト」を主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、U-22 プログラミング・コンテスト 2016 の一次審査を行った結果、最終審査会へ進む 16 作品を発表しました。

応募 252 作品のうち、事前審査、一次審査を経た 16 作品の入選が決まりました。今回も小学生から大学生まで、幅広い年齢層の作品が選ばれています。10 月 2 日 (日)、東京・秋葉原 UDX で開催される最終審査会で作者自らがプレゼンテーションを行い、経済産業大臣賞などの各賞が決まります。なお、最終審査会は一般聴講が可能なほか、ニコニコ生放送で公式配信される予定です。

平成 28 年 9 月 21 日 (水)

[マイナンバー対応ソフトウェア認証製品決定](#)

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (略称「CSAJ」、港区赤坂) は、個人番号を直接扱う業務アプリケーションが実装すべき機能について、第三者が実装確認・認証する「マイナンバー対応ソフトウェア認証制度」において、9 月 20 日に認証判定を実施、新たに 1 社 1 製品を認証しました。

ニュースリリース

平成 28 年 10 月 2 日 (日)

[【速報】U-22 プログラミング・コンテスト、最終審査会で各賞決定！！](#)

U-22 プログラミング・コンテスト」を主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会（実行委員長：青野慶久 サイボウズ株式会社 代表取締役社長）は、平成 28 年 10 月 2 日秋葉原 UDX で行われた最終審査会にて、入選作品 16 作品についての各賞受賞を決定しました。

平成 28 年 10 月 3 日 (月)

[2016 年度第 2 次エントリー受付を開始](#)

2015 年 6 月に開始した「CSAJ スタートアップ支援事業」において、新たに支援先となった企業 4 社を発表しました。「CSAJ スタートアップ支援事業」は、国内ソフトウェア業界において成功した起業家・創業者が所属する CSAJ の強みを活かし、シリコンバレーのような「起業家が起業家を育てる」好循環を日本に創り出すとともに、世界を変える革新的なソフトウェアを生み出すことを目的に開始された事業です。

平成 28 年 10 月 3 日 (月)

[CSAJ スタートアップ支援事業、支援先発表](#)

本年 6 月に開始した「CSAJ スタートアップ支援事業」の第 1 回投資委員会を開催し、5 社のスタートアップ企業への支援を決定いたしました。本事業の開始とともに、8 月末を期限として起業家を募集していましたが、15 社の応募があり、先月開催された第 1 回投資委員会において、今後の成長が見込まれる 5 社を選定、支援先として決定いたしました。

平成 28 年 10 月 5 日 (水)

[「コンピュータソフトウェア業における高齢者雇用推進ガイドライン」を策定](#)

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称：CSAJ）高齢者雇用推進委員会（委員長：梅澤隆（国士舘大学政経学部経済学科教授））は、「コンピュータソフトウェア業 高齢者雇用推進ガイドライン」を策定し、発表いたしました。

平成 28 年 11 月 2 日 (水)

[U-22 プログラミング・コンテスト 2017 Web サイト構築/運営/デザイン案、事前審査および審査会運営事業者公募のご案内](#)

U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、2017 年秋に東京で「U-22 プログラミング・コンテスト 2017」を開催する予定です。ついては、本コンテスト Web サイト構築/運営/デザイン案、事前審査および審査会運営事業者公募を実施します。

平成 28 年 12 月 7 日 (水)

[「U-22 プログラミング・コンテスト 2017」の開催決定！！](#)

37 年の歴史を持つプログラミング・コンテストを主催する U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会は、来年度も「U-22 プログラミング・コンテスト 2017」として開催することを決定しました。

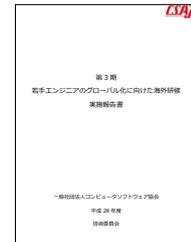
お陰様をもちまして、2016 年のコンテストも小学生から大学生まで幅広い年齢層が応募し、10 月に秋葉原 UDX で開催された最終審査会で応募作品 252 作品中 16 作品が経済産業大臣賞をはじめとした各賞を受賞し、成功裏に終了することができました。

このたび来年度開催の決定をお知らせすると共に、協賛スポンサー企業の募集も開始しました（募集締切：2017 年 1 月末）。協賛スポンサー企業には、ランクに応じて実行委員会・審査委員会・懇親会へ参加できる権利など多数の特典があります。

報告書

第3期若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修終了報告

技術委員会が企画した若手エンジニアを対象とした英語コミュニケーションによる米国最新 IT 動向を平成 28 年 11 月 5 日（土）～11 月 13 日（日）米国ロサンゼルスにて学び、また、研修終了後の 11 月 30 日（水）には研修参加者によるプレゼンテーション報告会を行った「若手エンジニアのグローバル化に向けた海外研修」の実施結果をまとめた報告書（参加 24 名）。



U-22 プログラミング・コンテスト 2016 実施報告書

2016 年は「未来を拓く創造力！プロをうならせるアイデアと技術」をテーマに、10 月 2 日（日）秋葉原 UDX GARALLEY NEXT にて最終審査会を実施、各賞を決定しました。今年度は過去最多の 252 作品、参加者総数 770 名の方に応募いただきました。

最終審査会当日、会場は一般の方にも多数来場いただいたほか、ニコニコ生放送で 35,000 名以上の方に視聴いただき、大変盛況の中、応募者たちによる決戦が繰り広げられました。そして、今回の経済産業大臣賞「総合」では、プロ顔負けの自作ライブラリツールを利用した RPG ゲーム作品が獲得しました。そのほか「プロダクト」「アイデア」「テクノロジー」の各部門でも、中学 1 年生、小学 4 年生、専門学校生という非常に幅広い年齢の方々が経済産業大臣賞を受賞しました。



U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会では、上記結果を踏まえた「U-22 プログラミング・コンテスト 2016」実施報告書を取りまとめました。

コンピュータソフトウェア業 高齢者雇用推進ガイドライン

CSAJ は、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）より受託した「コンピュータソフトウェア業における高齢者雇用推進事業」において、平成 27 年度に会員企業を中心としたコンピュータソフトウェア企業を対象にアンケート調査およびヒアリング調査を実施し、その結果をもとに平成 28 年 9 月に「コンピュータソフトウェア業 高齢者雇用推進ガイドライン」を策定・発刊いたしました。



コンピュータソフトウェア業における従業員構成は、30 歳代・40 歳代が中心であり、まだ 60 歳以上の高齢者雇用に対して大きな課題を抱えている状況にはありません。しかし、法改正や社会環境の変化を受けて、現在の従業員構成のボリュームゾーンが中高年齢に至る時期までにどのように活用していくかを、各企業で検討し必要な施策を準備していくことが重要となります。

そこで、本ガイドラインは、これからの高齢技術者雇用に向けた施策について、本格的に検討を進める企業、そして従業員にとって参考となるよう作成されています。

- 第 1 章 高齢者雇用をめぐる環境と高齢者雇用に向けた社会的要請
- 第 2 章 コンピュータソフトウェア業における高齢者雇用の現状とその推進の考え方
- 第 3 章 コンピュータソフトウェア業における高齢者雇用対策
- 第 4 章 高齢者雇用に関わる事業者が利用できる支援策

特に、第 2 章・第 3 章では、会員企業の経営者層及び従業員を対象としたアンケート調査及びヒアリング調査の回答に基づいた結果から、「継続雇用後の賃金水準」や「技術者の継続雇用の支障となっていること」については企業と従業員の考え方にギャップがあることが分かりました。

また、「多様な働き方を支える制度」や「高齢技術者の活躍が期待できる職域の開発」などを実施しているコンピュータソフトウェア事業者の高齢者雇用に向けた事例を取り上げることで、本ガイドラインをお読みいただく企業の皆様、従業員の皆様にとってわかりやすく、実用的な内容となっておりますので広く社内でご活用いただけますと幸いです。

「コンピュータソフトウェア業 高齢者雇用推進ガイドライン」は下記 URL よりダウンロードいただけます。

<http://www.csaj.jp/documents/activity/project/kourei/guideline.pdf>

実施事業

プライバシーマーク審査事業

1. プライバシーマーク審査判定委員会 (平成 28 年 4 月～12 月)

個人情報保護に関する学識経験者等を委員委嘱し、プライバシーマークの付与適格性審査や個人情報事故措置審議を行う第三者委員会として、平成 28 年 4 月から平成 28 年 12 月に計 9 回の委員会を開催し、付与適格決定 69 社（更新 54 社、新規 15 社）、個人情報事故措置 9 件を決定致しました。

2. 平成 28 年度プライバシーマーク審査事業実施状況 (平成 28 年 4 月～12 月)

	更新	新規	合計	合計値 前年度対比	入会数	他審査機 関からの 乗換	更新辞退/ 退会/審査 機関変更	P マーク 実質増減数
平成 27 年度 実績	70 社	34 社	104 社	—	40 社	1 社	10 社	25 社
平成 28 年度 実績	66 社	24 社	90 社	86.5%	42 社	4 社	6 社	22 社

※実績は、審査中を含む。

3. 申請様式、申請方法、審査料等

申請様式、申請方法、審査料等については、以下の URL をご参照下さい。

<http://www.csaj.jp/activity/project/pmark/index.html>

実施事業

U-22プログラミング・コンテスト 2016

U-22 プログラミング・コンテストは、1980年から経済産業省の主催により、優れた才能を持ったイノベティブなIT人材の発掘と育成を目的として開催されてきました。2014年からは本コンテストの主旨にご賛同、ご協賛いただいた企業によって構成される「U-22 プログラミング・コンテスト実行委員会」（実行委員長：青野慶久 サイボウズ株式会社 代表取締役社長）が主催、CSAJが運営事務局として、歴史あるプログラミング・コンテストを継承し、更なる発展を目指し、実施しています。

「U-22 プログラミング・コンテスト 2016」においては、4月1日に応募要領を公開し、7月1日から8月25日までの期間、応募を受け付けました。

全応募作品数は歴代最多の252作品（参加者総数770名）となり、その中から事前審査、一次審査を経て入選16作品を決定し、10月2日（日）の最終審査会で各賞が決定しました。

○応募結果

応募作品数	252	学校区分		ジャンル	
個人	92	小学生	4	IoT	13
団体	160	中学生	9	セキュリティ	5
応募方法		高校生	45	プログラミング言語	2
ストレージ	154	高専生	8	ユーティリティ	73
郵送	98	専門学校生	146	学習&教育	19
		大学生	40	コミュニケーション	12
				ゲーム	113
				その他(不明含)	15

受賞カテゴリ	作品名	制作者名	ジャンル
総合	Project Stinger	藤原重工	ゲーム
プロダクト	わたしのお菓	青山 柊太郎	ユーティリティ
テクノロジー	WARos	斎藤 鴻	IoT
アイデア	Worknote - Organize your Brain	二ノ方 理仁	ユーティリティ



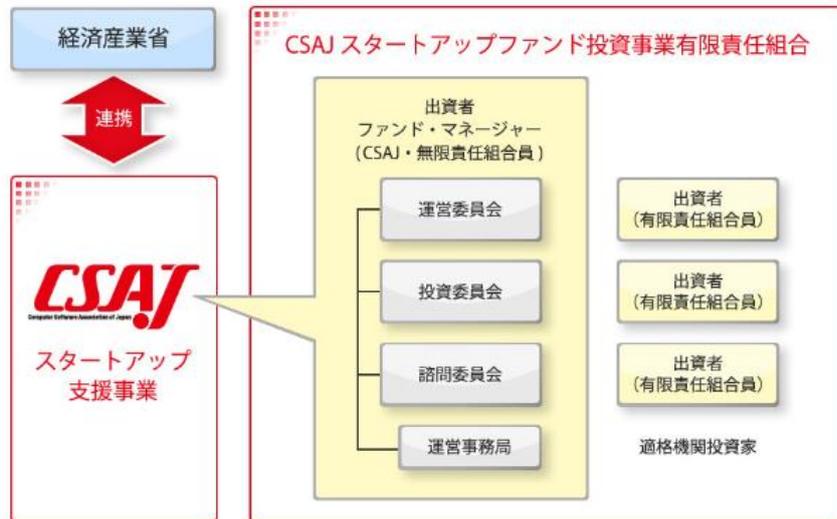
実施事業

スタートアップ支援事業

ソフトウェア分野でベンチャー成功者を会員に多く持つCSAJの特色を生かし、今後、排出される有能なIT関連起業家の発掘とその支援を行う「CSAJスタートアップ支援事業」を平成27年度よりスタートしました。

また、CSAJが受託した経済産業省の平成26年度補正予算事業「先端課題に対応したベンチャー事業化支援等事業（ITベンチャーのスタートアップ促進事業）」とも連携し、新たに設置された運営委員会（委員長：和田 成史 株式会社オービックビジネスコンサルタント 代表取締役社長）を中心に実施してまいります。

平成28年は、一次募集を4月～7月、二次募集を10月～平成29年1月に行い、12月現在では13社への支援を行っています。



支援企業 13社

 BANK INVOICE <small>紙をなくす会社。</small> Bank Invoice 株式会社	 eBook Cloud 株式会社 eBook Cloud	 Premium ARTS 株式会社プレミアムアーツ	 あなたをそだてる。 Manabelle 株式会社 Manabelle
 Mealthy 株式会社 Mealthy	 mobilus モビルス株式会社	 FacePeer FacePeer 株式会社	 SCORE D.fu microMacroLink Corporation マイクロマクロリンク株式会社
 umami 株式会社 umami	 yenbo 円簿 インターネット サービス 株式会社円簿インターネットサービス	 Vivliostyle 株式会社ビブリオスタイル	 Gridraw グリッドロー株式会社
 Insight+ インサイトプラス			

2016年12月末時点

実施事業

CSAJ スタートアップ支援事業

中間発表会（CEATEC JAPAN 2016）

平成 28 年 10 月 5 日、CSAJ スタートアップ支援事業において、CEATEC JAPAN 2016 の開催にあわせて中間発表会が、幕張メッセ（千葉）にて開催されました。

開催日：平成 28 年 10 月 5 日（水）13:30-15:00
会場：幕張メッセ国際会議場

はじめに、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課 滝澤課長よりご挨拶として、前職である NEDO シリコンバレー事務所所長として米国シリコンバレーに在住していた当時のことやスタートアップ企業に期待していることなどをお話いただき、その後、笹岡専務理事よりスタートアップ支援事業の概要について説明が行われました。

続いて、2016 年に支援を開始したスタートアップ企業 8 社から、製品概要について説明が行われました。

■発表したスタートアップ企業 8 社

- ・FacePeer（フェースピア）株式会社
- ・モビルス株式会社
- ・マイクロマクロリンク株式会社
- ・株式会社 umami（ウマミ）
- ・株式会社円簿インターネットサービス
- ・株式会社インサイト・プラス
- ・グリッドロー株式会社
- ・株式会社ビブリオスタイル



冒頭挨拶：経済産業省 滝澤課長



事業説明：CSAJ 笹岡専務理事



聴講者の皆様



製品を発表された 8 社の皆様

実施事業

CSAJ スタートアップ支援事業

CSAJ Startup Demo Day 2nd

平成 28 年 12 月 7 日、CSAJ スタートアップ支援事業において「CSAJ Startup Demo Day 2nd」が、東京ミッドタウン ホール&カンファレンスで開催されました。

開催日：平成 28 年 12 月 7 日（火）14:30-19:00

会場：東京ミッドタウン タワー4F カンファレンス Room

はじめに、CSAJ スタートアップ支援事業投資委員会委員長の荻原 CSAJ 会長より、ご自身の体験を交えた開会挨拶があり、基調講演では、経済産業省商務情報政策局情報処理振興課 滝澤課長をお招きし、IT 産業の課題と政策展開について、スタートアップ支援事業への期待等についてご講演いただきました。

その後、前川 CSAJ フェローの進行により、スタートアップ企業 8 社がプレゼンテーションを実施、質疑応答も時間いっぱいまで繰り広げられました。

発表終了後は、懇親会場に用意したデモブースで、参加各社が思い思いのブースでデモを確認し、様々な質問や、時には厳しいご意見等により、スタートアップ企業の将来性を見定めていました。

また 2015 年より支援している 5 社もデモコーナーに出展しました。

■ 基調講演

経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課長/前 NEDO シリコンバレー事務所所長 滝澤 豪氏より「IT 産業の課題と 政策展開について」と題したご講演を頂戴しました。

自動運転車や観光、公共、インフラ、医療などの様々な社会課題を IoT・ビッグデータ・AI が解決する可能性と脅威、第四次産業革命に直面する日本の現状と変革についてご解説頂きました。

■ スタートアップ企業のプレゼンテーション

CSAJ ファンドからの投資が決まったスタートアップ企業より、各社の製品・サービスに関するプレゼンテーションを実施しました。

■ 懇親会

8 社のプレゼンテーション終了後、スタートアップ企業各社の製品・サービスを実際にご覧いただくデモブースを用意した懇親会を開催、発表後の質疑応答では確認しきれなかった製品の動作や各社のマネタイズなど、参加者からの積極的な質問に各社が対応しました。



実施事業

コンピュータソフトウェア業高齢者雇用推進事業

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ) 高齢者雇用推進委員会は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED) 受託事業の一環として、高齢者雇用推進委員会の梅澤隆委員長より「高齢者雇用推進ガイドライン」について、CSAJの理事・監事向けに説明を行い、ガイドラインを配布いたしました。

・CSAJ 理事会における理事向けセミナー

IoT時代に活躍するソフトウェア人材。高齢者が担う役割とは。 - 高齢者雇用推進ガイドラインのご紹介 -

- 日時：平成28年9月14日(水)
- 会場：東海大学校友会館「富士の間」
- 内容：「CSAJ 高齢者雇用推進活動とガイドラインについて」
国土館大学 政経学部経済学科 教授 梅澤 隆氏
- 参加人数：36名



一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ) 高齢者雇用推進委員会は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 (JEED) 受託事業の一環として、各地で「働き方改革と人材セミナー」を開催しました。

セミナー参加者には、これからの自社における高齢者雇用についてご検討いただくため「コンピュータソフトウェア業高齢者雇用推進ガイドライン」を無料進呈しました。

(1) CEATEC JAPAN 2016 CSAJ セッション

「IoT時代に活躍するソフトウェア人材－高齢者が担う役割とは」

当日は、CEATEC JAPAN 2016の開催にあわせたセミナーを開催し、高齢者雇用推進のガイドライン等に関する説明を行いました。

- 日時：平成28年10月5日(水)15:30～17:00
- 会場：幕張メッセ 国際会議場 105 会議室
- 内容：「CSAJ 高齢者雇用推進活動について」
国土館大学 政経学部経済学科 教授 梅澤 隆氏
「高齢者雇用推進のガイドラインについて」
株式会社国際社会経済研究所 主幹研究員 遊間 和子氏
「高齢技術者活用に向けたCSAJとしての取り組み」
CSAJ 人材育成研究会 主査 株式会社ウチダ人材開発センタ
常務取締役 富田 伸一郎氏
- 参加人数：74名



実施事業

コンピュータソフトウェア業高齢者雇用推進事業

(2) 東京会場

- 日時：平成 28 年 11 月 1 日(火)
- 会場：関東 IT ソフトウェア健保会館（大久保）会議室
- 参加：33 社 / 45 名



当日は、特別講演として、経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 情報化人材対策係長 千家 寛也 様から、現在政府でも検討されている「働き方改革について」をご説明いただきました。

引き続き、IoT 時代における IT 技術者の育成を担う高齢者の役割を考察すべく、CSAJ がこの度策定した「コンピュータソフトウェア業 高齢者雇用推進ガイドライン」について、2 社の取り組み事例も含めた説明が行われました。

プログラム

特別講演：働き方改革について

経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 情報化人材対策係長 千家 寛也 氏

講演 1：高齢者雇用推進活動について

CSAJ 高齢者雇用推進委員会 委員長 梅澤 隆 氏（国土館大学 政経学部経済学科 教授）

講演 2：高齢者雇用推進ガイドラインについて

株式会社国際社会経済研究所主幹研究員 遊間 和子 氏

講演 3：高齢者雇用推進の取り組み事例紹介

(1) 株式会社大和コンピューター 常務取締役 林 正 氏

(2) 株式会社ウチダ人材開発センタ HRD 事業部 HR 営業部部長 安田 聡 氏

講演 4：高齢技術者活用に向けた CSAJ としての取り組み

人材育成研究会 主査 富田 伸一郎 氏（株式会社ウチダ人材開発センタ 常務取締役）

(3) 大阪会場

- 日時：平成 28 年 11 月 24 日(木)
- 会場：ホテル日航大阪 4F「孔雀」
- 参加：20 社 / 31 名



当日は、特別講演として、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構（JEED）大阪支部 高齢・障害者窓口サービス課長 開尾 広 様から、「独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 大阪支部における高齢者雇用支援について」をご説明いただき、

引き続き、IoT 時代における IT 技術者の育成を担う高齢者の役割を考察すべく、CSAJ がこの度策定した「コンピュータソフトウェア業 高齢者雇用推進ガイドライン」について説明が行われました。

プログラム

特別講演：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 大阪支部における高齢者雇用支援について

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 大阪支部 高齢・障害者窓口サービス課長 開尾 広 氏

講演 1：高齢者雇用推進活動について

CSAJ 高齢者雇用推進委員会 委員長 梅澤 隆 氏（国土館大学 政経学部経済学科 教授）

講演 2：高齢者雇用推進ガイドラインについて

株式会社国際社会経済研究所主幹研究員 遊間 和子 氏

講演 3：高齢技術者活用に向けた CSAJ としての取り組み

人材育成研究会 主査 富田 伸一郎 氏（株式会社ウチダ人材開発センタ 常務取締役）

実施事業

PSQ 認証制度事業

1. 平成 28 年度 PSQ 認証取得状況 (平成 29 年 1 月 31 日現在)

ソフトウェア品質に関する国際規格である ISO/IEC25051 に準拠した評価基準を用いて第三者が評価・認証を実施する「PSQ 認証制度事業」により、制度の運用を開始した平成 26 年から累計で 22 社 34 製品が認証を取得しています。

認証番号	申請者	製品名	バージョン	取得年月日
PSQ-Q2016001	日本ナレッジ株式会社	PC Operation Control	1.0.0	平成28年7月27日
PSQ-Q2016002	株式会社富士通ビー・エス・シー	FENCE-Mobile RemoteManager	V1	平成28年12月1日
PSQ-Q2016003	富士通株式会社	FUJITSU Network Virtuora TC	V01L01	平成28年12月1日

2. マイナンバー対応ソフトウェア認証

CSAJ では、政策委員会/マイナンバーワーキンググループ(以下、マイナンバーWG)が定めた「マイナンバー評価シート」を基に、個人番号を直接扱う業務ソフトウェアが実装すべき機能、および、個人番号を直接扱わない支援ソフトウェアが実装している機能について、第三者が実装確認・認証する制度を実施しています。

今年度は、2 社 2 製品の新規認証と 1 社 1 製品の更新認証があり、累計で 13 社 20 製品が取得しています。

認証番号	申請者	製品名	バージョン	取得年月日
MN-2016001	株式会社パンフィックシステム	PSD労働社会保険	8	平成28年7月26日
MN-2016002	株式会社アド・ダイセン	マイナデポ	1.0.1.0	平成28年9月20日
MN-2015011-1	ソリマチ株式会社	給料王18	18	平成28年12月20日

3. ソフトウェア品質セミナー

品質管理/製品開発部門対象ソフトウェア品質セミナー

注目される IoT 時代の「利用時の品質」 (主催: ソフトウェア品質向上研究会)

平成 28 年 12 月 21 日(水)、利用時の品質にフォーカスしたソフトウェア品質セミナーを開催しました。

本講演では、つながる世界におけるソフトウェアの利用時の品質について、利用環境や実利用の状況調査・分析のあり方、既存の利用時の品質の知見や失敗事例を活かした新製品開発のポイントなどを中心とした解説がありました。

『つながる世界に考慮すべき利用時の品質に対する IPA/SEC の取組み』

講師: 西尾 柱子 氏 (独) 情報処理推進機構 技術本部 ソフトウェア高信頼化センター)

『利用時の品質に関する概要』

講師: 鱗原 晴彦 氏 (HCD-Net 理事長、株式会社 U'eyes Design 代表取締役)

開催日: 平成 28 年 12 月 21 日(火) 15:00~17:00

会場: CSAJ 3 階会議室

参加実績: 21 名

ソフトウェアで世界に挑む。
そんな「スタートアップ企業」を
募集します。

起業・創業成功者が創業者の視点で
新たなスタートアップをサポート！



CSAJ スタートアップ支援事業 2017年スタートアップ企業の一次募集は4月より開始

ソフトウェア産業の発展を目的に設立されて30年、ソフトウェア分野での起業経験者・成功者が多数在席する一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（CSAJ）が、「世界を変える革新的なソフトウェア」を生み出すスタートアップ企業に対して手厚い支援を提供します。起業を考えている、または、起業後に次のステップを踏み出したいベンチャー創業者は、奮ってご応募ください。

募集期間	一次募集 2017年04月01日～2017年07月31日 二次募集 2017年10月01日～2018年01月31日
応募要件	地 域：日本国内に本店を置いて事業を行う企業またはチームであること。 業 種：ソフトウェアを中核とした技術系スタートアップ企業またはチームであること。 事業内容：ソフトウェアを中核とする事業であること。 規 模：原則として小規模であること。
全体の流れ	募集から採択、投資開始、教育（支援プログラム）、発表、EXIT等までの流れ 
CSAJ ファンドからの出資	シード期の初期投資：300万円～1,000万円を想定（取得株式：5～10%を想定）
エントリー	エントリーシートをダウンロードし、必要事項をご記入の上、事務局までメールでご送付ください。
お問合せ先	CSAJ 担当：井上、中野 E-mail：startup-info@csaj.jp TEL：03-6435-5702 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-3-6 赤坂グレースビル 4階

詳細はスタートアップ公式サイト（ <http://www.csajstartup.com/> ）をご覧ください

U-22 プログラミング・コンテスト



U-22プログラミング・コンテスト 2017 スポンサー企業、応援団大募集！

U-22プログラミング・コンテスト2016は、過去最多となる252件の応募（参加者総数770名）の中で、16作品が入賞しました。2016年は、初の試みとして、ニコニコ生放送を配信したところ、35,000を超える視聴者から12,000件を超えるコメントが飛び交い、大変盛況な中終了しました。当日は経済産業大臣賞、商務情報政策局長賞、各スポンサー企業賞などのほか、ニコニコ視聴者投票による「Best Viewers賞」も新たに選出しました。

もちろん、2017年も引き続き、コンテストを開催いたします！

既に世界各地でプログラミングが義務教育化されてきていますが、日本でもついに2020年より小学生からのプログラミング教育が必修化する動きがあります。まさに今、国内の「プログラミング」熱が高まってきている状況です。このコンテストは日本の未来を支え、将来的に世界各地で活躍するであろう若者たちを応援するコンテストです。

当コンテストを通じて、日本の若者を一緒にサポートしていただく企業様を広く募集しています。

▼参考：2016年の様子

[U-22プログラミング・コンテスト2016実施報告書（会員限定）](#)（3.4MB/PDF）

[U-22プログラミング・コンテスト2016最終審査会](#)（Movie）



公式 Web サイト

【スポンサー一覧】

内容/ランク	プラチナ 300万円	ゴールド 200万円	シルバー 100万円	ブロンズ 50万円	応援団(小口) 5万円
1.実行委員会への参加	○	○	-	-	-
2.審査委員会への参加	○	○	-	-	-
3.企業賞の実施	○	○	-	-	-
4.最終審査会 CM 枠提供	○	○	-	-	-
5.表彰式・懇親会参加	3名まで	2名まで	2名まで	1名まで	-
6.パンフ・ノベルティ等の配布 ※最終審査会	○	○	○	○	○
7.制作物への社名掲載 (Web、DM、ポスター等)	ロゴ大	ロゴ中	ロゴ小	社名	△ Web 社名掲載
8.会社見学会の実施	○	○	-	-	



品質の見える化

PSQ認証制度は、世界に通用する国産ソフトウェア製品の品質を認証するしくみです。

PSQ 認証制度 申請製品募集中！

ソフトウェア製品品質の国際規格 ISO/IEC25051:2014 に準拠した第三者適合性評価で、貴社製品をもっとアピール！

PSQ 認証制度は、CSAJ が国産既製ソフトウェア製品の品質の高さを世界で通用することを証明するために制定した認証制度で、国際規格である ISO / IEC 25051:2014 に準拠しており、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)の「ソフトウェア品質説明のための制度ガイドライン」に沿った品質認証制度です。

これまでに 20 社 31 製品が認証を取得しています。ソフトウェア製品（パッケージ/クラウド）をお持ちの企業は、ぜひ本認証を取得し、品質をアピールしてください。



ISO/IEC 25051:2014

認証申請、お問い合わせ先（PSQ 認証制度、マイナンバー対応ソフトウェア認証制度）

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 PSQ 認証室

TEL:03-3560-8452(部門直通) E-mail:psq_info@csaj.jp

マイナンバー制度の利活用はこれからです！ 「マイナンバー対応ソフトウェア認証制度」申請製品募集中！

業務ソフトウェアとして「マイナンバー対応」を謳うなら！

CSAJ では、政策委員会/マイナンバーワーキンググループが定めた「マイナンバー評価シート」を基に、個人番号を直接扱う業務ソフトウェアが実装すべき機能について、第三者が実装確認・認証する制度をスタートしました。

これまでに 12 社 19 製品が認証を取得、製品パッケージや Web サイト、カタログ等で積極的なアピールを展開しています。

